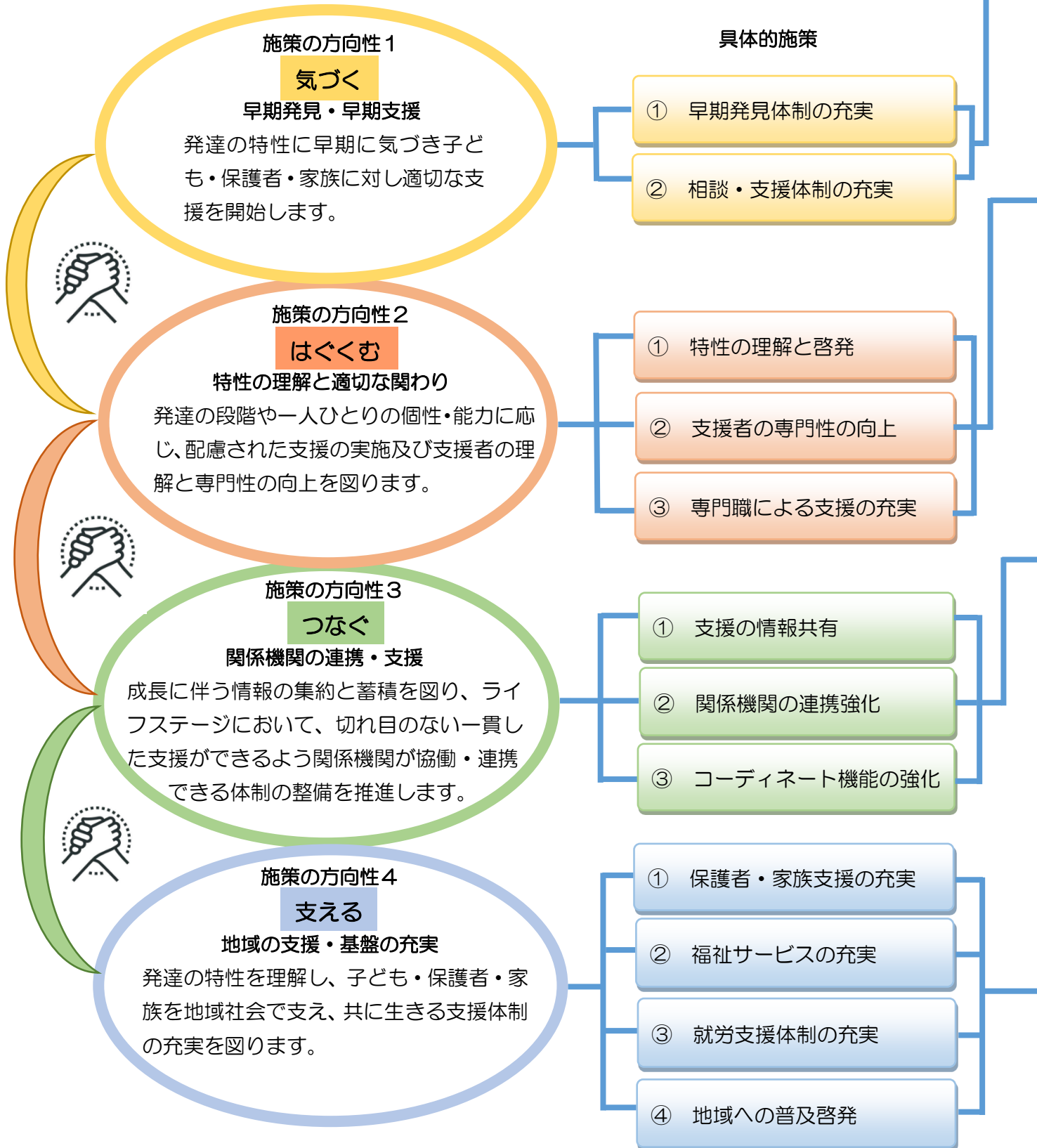


第4章 計画の基本的な考え方

基本理念 『子どもの生きる力をはぐくむ』

～切れ目のない一貫した発達支援をめざして～

子どものライフステージに応じて切れ目のない一貫した支援を提供し、一人ひとりがもつ『生きる力』を地域全体で『はぐくむ』ことを目指します。



各施策における今後の取組

施策の方向性1 気づく 具体的施策① 早期発見体制の充実

発達に支援が必要な子どもを早期に発見するため、早期発見体制の充実を図ります。

施策の方向性1 気づく 具体的施策② 相談・支援体制の充実

子どもの発達特性に気づいたできるだけ早い時点で、適切な支援を受けることができるよう、関係機関との連携を図りながら、各発達段階における相談・支援体制の更なる取組の強化に努めます。

施策の方向性2 はぐくむ 具体的施策① 特性の理解と啓発

発達に支援が必要な子どもの特性や、より適切な関わり方について支援者及び市民の理解を促進するため、講演会や研修会などをとおして普及啓発に取り組みます。

施策の方向性2 はぐくむ 具体的施策② 支援者の専門性の向上

支援者が子どもの発達特性を理解し、適切な対応が出来るよう研修会を開催し、支援者の専門性の更なる向上を目指します。

施策の方向性2 はぐくむ 具体的施策③ 専門職による支援の充実

心理士、保健師、保育士、教員など多職種専門スタッフによる支援体制の充実を図り、多様化する相談内容に対応できるよう努めます。

施策の方向性3 つなぐ 具体的施策① 支援の情報共有

必要な支援が切れ目のない一貫したものとなるよう支援情報を蓄積し、個人情報保護への十分な配慮のもと、関係機関と適時情報共有を行います。

施策の方向性3 つなぐ 具体的施策② 関係機関の連携強化

「縦の連携」及び「横の連携」によるつなぐ支援が更に充実したものになるよう、関係機関との連携をより強化し、個別の支援計画によるつなぐ支援の在り方やその連携に係る事務効率などについて研究します。

施策の方向性3 つなぐ 具体的施策③ コーディネート機能の強化

発達に支援が必要な子どもに対する支援の多様化に伴い、広範囲にわたる様々な関係機関との連携を図りながら、包括的な支援体制の整備を図ります。
また、支援を求める人が、必要な情報を主体的に得ることにより早期支援につながるような情報発信に取り組みます。

施策の方向性4 支える 具体的施策① 保護者・家族支援の充実

保護者や家族が孤立感をもつことなく、安心して子どもと向き合っていけるような相談体制の強化を図ります。

施策の方向性4 支える 具体的施策② 福祉サービスの充実

発達に支援が必要な子どもの自立や社会参加を目指し、福祉サービスがより充実していくよう、関係機関との連携を図ります。

施策の方向性4 支える 具体的施策③ 就労支援体制の充実

発達に支援が必要な子どもの就職や就労定着を促進するために、就労に関する支援体制や取組を把握し、関係機関との連携強化に取り組みます。

施策の方向性4 支える 具体的施策④ 地域への普及啓発

子どもの発達特性に対する理解が広く浸透し、子どもを支える支援体制の更なる充実が図れるよう、発達支援システムの取組について、地域への普及啓発に努めます。